

2019年7月8日

学校法人三幸学園
札幌スイーツアンドカフェ専門学校
校長 藤田 高峰 殿

学校関係者評価委員会
委員長 中瀬 智大

学校関係者評価委員会実施報告

2018年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

① 中瀬 智大

(日本ビューホテル株式会社札幌ビューホテル大通公園)

② 日置 千夏

(株式会社共立メンテナンス 寮事業本部 札幌支店 リーダー)

③ 曲木 なずな

(2018年度卒業生)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2019年6月24日(会場 札幌スイーツアンドカフェ専門学校 801教室)

3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2018年度 学校法人 三幸学園 札幌スイーツアンドカフェ専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 熊木絢子

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 中瀬智大

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、製菓・調理分野の学校として「美味しくてかわいいスイーツとカフェを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、製菓・調理分野として「美味しくてかわいいスイーツとカフェを通じて、時間と空間をトータルプロデュースし、人の心を豊かにする人材を育成する(全ては、お客様の笑顔とありがとうのために)を人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

○皆勤、精勤率の向上

過去の皆勤、精勤率の変動時期を予測し、年間で下記の時期で面談を実施することでモチベーション低下による遅刻、早退、欠席を未然に防ぐ。

・面談実施時期

4～5月、10～11月：クラス全員との面談実施期間

《2018年度数値結果》

	月間皆精勤率(年間平均)
2018年度	70.2%

○退学率(2学年合計退学率目標を5%以下とする)

・教務チームを設置し、小単位での会議にて教務力の向上を図る

・毎週の担任会議にて生徒状況共有を行い、退学の申し出の前に対策を打つ

《2018年度数値結果》

	4月在籍者数	退学者数	退学率
2018年度	152人	6人	3.9%

② 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

・業界のニーズは日々変化しており、1年の中でも目まぐるしく変化する為、常に現在の業界のニーズに向けて方向づけられているかに関しては課題がある。

② 今後の改善方策

・企業訪問など業界関係者との接点を増やすことで、常に業界のニーズを知る機会を創出する
・全ての職員を対象とした業界関係者による講話機会を増やす

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

1) 中瀬委員(スイーツパティシエ科)

業界がニーズに順応していくのはすごく難しく、タイムラグが生じる。ニーズを生徒に伝える場合は、内部の職員よりも外部の現場の人が伝えた方が生徒には響くのではないか。

数か月に1回でもよいので、そのような授業があったら反応はよいだろうし、新鮮だと思う。

2) 曲木委員(スイーツパティシエ科)

SNS(インスタグラム等)は、生徒の方が掴むのが早いので、授業でも取り入れたら面白いと思う。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

・情報システム化の体制は整っているが、新しい情報システムを効率的に使い慣れていない。

② 今後の改善方策

・情報発信のみを目的としていたが、今後は学校と生徒の双方から情報を蓄積・可視化できるシステムを運用していくことで業務の効率化を図る。

③ 特記事項

・今年度より新しいシステム(infoClipper,SankoGate)導入

④ 学校関係者評価委員会コメント

1) 中瀬委員(スイーツパティシエ科)

所属しているホテル業界のシステムの動きは遅いと感じている。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

・教員の出身分野の違いや経験年数の違いによって、指導力に差が出来ている。

② 今後の改善方策

- ・教科チーフを中心に定期的な教科会や技術研修会を実施することで、教員間また教科間連携の質向上を図る。
- ・得手、不得手を正確に把握し、強みに基づいた分業制を敷いていく。
- ・毎週実施される担任会議などを通じて、方法や考え方、認識を共有することで経験年数の差を埋める。

③ 特記事項

・分野全体で技術向上の取り組みが整備され始めているため、学校内部での技術向上の機会を創出する。

④ 学校関係者評価委員会コメント

1) 曲木委員(スイーツパティシエ科)

特別授業の実習時間(4コマ)をもう少し長く勉強したほうがよい(今期より8コマに改善済)。

実習時間は生徒全員がまんべんなく技術が経験できるようにすれば、技術の差は埋まるのではないか。

2) 中瀬委員(スイーツパティシエ科)

授業の進め方、考え方の教員間の多少のズレは起き得ることである。しかしながら、このズレにより生徒の技術に差が生じ、就職後はその技術の差により自信をなくし離職率が上がっていると考え。就職後、技術指導を行い、差を埋められるように現場では対応しているが、可能な限り在学中に全員の足並みは揃えられるようにしていただくと、現場に出た時の自信に繋がり即戦力になると思う。

その為に指導側の意識の共有、実習内容の密度向上の為に随時教科会を行う事は大切だと考える。

また基礎的技術が何より大事だが、生徒のモチベーションを維持する為に、時には外部授業を取り入れる機会をたくさん与え、多くに教員に見てもらい、成功体験をもっと経験させることができると良いのではないか。

3) 日置委員

自社では社員のモチベーションの差は必ずある。定期的な面談を随時行う事でフォローしている。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・上記についての対策を図ってはいるが、結果に対する目標を高く設定し、成し遂げるにはもっと練り込んでいく必要がある。
- ・卒業生に関しては長年勤務している教員との繋がりにより卒業後の活躍などを把握しているが、学校として卒業生の活躍を把握、更には学校教育活動の改善につなげる為にはまだ改善の余地がある。

② 今後の改善方策

- ・卒業後の動向を把握できる仕組みとして、在学中より卒業後も活用できる同一システムの導入を実施している。

③ 特記事項

- ・今年度より新しいシステム(SankoGate)導入
- ・生涯メールアドレスを発行し、上記システムのIDに設定している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

1) 卒業生委員(スイーツパティシエ科)

卒業しても学校で技術が練習できる機会があると嬉しい(就職先で販売をしている生徒もいる為)。

2) 中瀬委員(スイーツパティシエ科)

退職してしまった後の就職の斡旋を積極的にしてもらえれば、卒業後も学校へ行く機会が多くなるのではないかと。

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

- ・進路、就職に関する支援体制に関して整備はされているが、更に業界と協力した体制へ整える余地がある。
- ・学生への生活環境への支援は、業界内アルバイトへの斡旋のみ行っている状況。
- ・卒業生への支援、また中途退学者への支援に関しては申し出があった場合のみ支援できている。

② 今後の改善方策

- ・入学後～卒業後までの期間を見通して年毎の支援を実施する。
- ・(4)学修成果にも記載のある Sanko Gate システムを活用することで、卒業生へ求人タイムリーに発信するノウハウを蓄積していく。
- ・中途退学者へも上記システムを活用し、相談できる環境づくりをおこなう。

③ 特記事項

- ・2020年度生から有給企業インターンシップ開始

④ 学校関係者評価委員会コメント

1) 中瀬委員(スイーツパティシエ科)

長期インターンシップの方が現場も指導しやすく、生徒にとっても成長が早いと思う。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

- ・防災に関する設備は充実しているが、体制としては十分ではない。
- ・平成 30 年度防災訓練実績:4 月 13 日に全校生徒を対象に実施

② 今後の改善方策

- ・防火・防災管理者より全職員に向けて会議の場を通じ、研修を実施する。

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・特になし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適正に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

AO入学制度を利用し、早期に進路決定を行った高校生に対し、入学前に業界理解を深められる学習を実施

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

・特になし

【予算・収支計画】

・特になし

【会計監査】

・特になし

【財務情報の公開】

・特になし

② 今後の改善方法

【中期計画】

一昨年度に第2次中期計画を策定している。今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

・特になし

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

・産学連携でのボランティア活動は幅広く実施できており、また授業の一環として実施される店舗販売において地域貢献出来ている。また中学生向け講座も積極的に受け入れており、進路探求オリエンテーリング等を開催しているが、参加者が少ないので日程を増やすなどの対策が必要。

③ 今後の改善方策

・職業実践専門課程の申請を行い、教育訓練対象校を目指していく。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・2018年度は「退学率の低減」において大きな結果を残すことが出来た。

しかし皆精勤率や取り組みなどにはまだ改善点があると考え。各種改善・解決策と生徒が望んでいるもの、そして業界や学校関係者が求めていることの3点がマッチするように今後も学校関係者から意見を多く吸い上げる機会を設けていきたい。そうすることで更により良い教育を提供できる学校であり続けるよう努力していきたいと考えている。